



議会だより

2018.8 Vol. 59

# ふじかわぐちこ



- こういうことを決めました……2P
- 一般質問 .....4P
- 委員会レポート .....7P
- 議員視察研修報告 .....11P
- 窓・議会見聞録・編集後記....12P

表紙写真:西湖ロードレース大会選手宣誓  
(地元西湖の3姉妹)

# 平成30年 第2回定例会

平成30年第2回定例会は、6月5日に開会し、会期を12日までの8日間と決め、専決処分4件（条例の一部改正3件、補正予算1件）、報告2件を承認し、条例の一部改正2件、町道の路線廃止1件、補正予算7件、請負契約締結1件、同意案件3件、発議1件、請願1件を審議してすべて原案どおり可決しました。また、組合議会議員補欠選挙2件を行い6月12日閉会しました。

## 専決処分4件…（条例の一部改正3件、補正予算1件）

- 1 富士河口湖町税条例等の一部を改正する条例  
(地方税法の一部改正に伴う、必要な条例の一部改正)
- 2 富士河口湖町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
(国民健康保険法施行令及び地方税法施行令の各法律の一部改正に伴う、必要な条例の一部改正)
- 3 富士河口湖町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
(国民健康保険法施行令の一部改正に伴う、必要な条例の一部改正)
- 4 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

## 報 告……（2件）

- 1 平成29年度下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について  
(社会資本整備総合交付金事業予算の翌年度への繰り越し)
- 2 平成29年度富士河口湖町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について  
(長浜親水公園整備工事監理業務委託事業、長浜親水公園整備事業、船津小学校改築事業、町民体育館耐震化事業予算の翌年度への繰り越し)

## 条例の一部改正……（2件）

- 1 富士河口湖町立保育所条例の一部を改正する条例  
(船津保育所改築に伴う改正)
- 2 本栖湖スポーツセンター条例の一部を改正する条例  
(研修室利用料金の改正)

## 町道の路線廃止……（1件）

- 1 町道4062号線（小立）の路線廃止

## 補正予算……（7件）

### ◆平成30年度富士河口湖町一般会計補正予算（第1号）

#### 〈主な歳入〉

- 国庫支出金：社会保障、税番号システム整備費補助金 ..... 391万円
- 繰越金 ..... 5,586万円
- 諸収入：コミュニティー助成事業助成金等 ..... 100万円

#### 〈主な歳出〉

- 番号制度システム改修委託料 ..... 958万円
- 町営住宅北八津団地解体工事 ..... 1,800万円
- 防火水槽撤去工事 ..... 229万円
- 富士山河口湖音楽祭実行委員会補助金 ..... 1,851万円

### ◆その他、特別会計補正予算（5件）及び公営企業会計補正予算（1件）

# こういうことを決めました!

## 請負契約締結……(1件)

### 1 防災行政無線同報系システムデジタル化整備工事請負契約

契約金額: 6億9, 670万円

契約の相手: 協和エクシオ・タツミエンジニアリング・井出電気防災行政無線  
同報系システムデジタル化整備工事共同企業体

## 同意案件……(3件)

### 1 本栖財産区管理委員

いとう  
伊藤  
あらい  
荒井  
いとう  
伊藤

ゆきお  
幸雄  
しげる  
茂  
ゆきお  
幸雄

### 2 富士ヶ嶺財産区管理委員

### 3 大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区管理委員

## 議員発議……(1件)

### 1 太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書

提出者: 外川 満 賛成者: 渡辺 武則 小佐野 快

内 容: 全国で急激に導入が進む太陽光発電設備によって引き起こされている、景観上の問題等の様々な課題に対して、法整備等の措置の必要性を訴える意見書を国の関係機関に提出。

## 請 願……(1件)

### 1 富士河口湖町各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願

請 願 者: 山梨県行政書士会 会長 岡 伸

紹介議員: 渡辺 武則 小佐野 快 外川 満

内 容: 富士河口湖町各機関の窓口において、申請者・届出人等の本人確認及び申請・届出等を代理又は代行する者が行う場合、法定の代理人であるか否かの確認を徹底するよう求める。

審議結果: 全員賛成で採択

## 組合議会議員補欠選挙

### 1 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員

おがさわら よしお  
小笠原 良雄(大嵐)

### 2 河口湖南中学校組合議会議員

おがさわら よしお  
小笠原 良雄(大嵐)

# 第1回臨時会

平成30年第1回臨時会が7月3日開会し、次の案件を審議し原案通り可決し、同日閉会しました。

## 請負契約締結……(1件)

### 1 船津小学校既設校舎第一期解体工事請負契約

契約金額: 8, 424万円 契約の相手: フジコンストラクト株式会社

## 補正予算……(2件)

### ◆平成30年度富士河口湖町一般会計補正予算(第2号)

#### 〈主な歳入〉

●国庫補助内示確定による町債の財源更生……………合併特例事業債 9,920万円  
教育債 △9,500万円

#### 〈主な歳出〉

●勝山中学校部活動移動用車両購入費等……………367万円

### ◆その他、船津財産区特別会計補正予算(1件)

一般質問

出産と子育てしやすい町ぐるみ

**Q** 昨年4月から県内でいち早く産婦健康診査事業を実施していただいたが、実施内容と医療機関との連携状況は。

**A** 子育て支援課長 本町の出生数は、  
27年度241人、28年度228人、  
29年度217人。産婦健康診査事業は、  
産後2週間と1ヶ月に各医療機関で診察  
し、結果はすぐに報告され、保健師が訪問  
し、育児不安がある方は産前産後ケアセン  
ター「ママの里」を紹介している。

富士河口湖町子ども・子育て支援事業計画を31年度に見直すので、子育て地域包括支援センターや産後のお母さんへの訪問型支援等をその際に検討していく。

支援等をその間に検討していく

## ひとりごとの支援体制を

**Q** 最近ではいったん社会に出てから挫折してひきこもり状態になる人が増え、本人も家族も高齢化し、支援が難しくなっている。我町の実態は。また、相談窓口や居場所づくりは。

**A 福祉推進課長** きていない。今年度、民生・児童委員や自治会役員などへの聞き取り調査を行い、実名の回答を得ながら個別の支援に当たっている。そのためには、ひきこもり支援

たいたいそのためには、ひきこもり支援センター養成講座なども視野に入れる。

相談体制は県精神保健福祉センターや富士北麓障害者基幹相談支援センターがある。

今後は、地域活動支援センターやデイケ

アのより一層の充実と、ひきこもり支援サポートなどの顔の見える支援ネットワークを構築し、訪問支援を用いながら家族や

当事者への支援の強化を進めたい。



一般質問者  
佐藤 安子



認知症になつても  
安心して暮らせる地域に

2018年4月には全市町村で「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症にやさしい地域づくりを推進するとしている。認知症サポーター養成講座や認知症カフェの充実を。

**A 健康増進課長** 当町の認知症高齢者数は本年1月現在で750人。4月から「認知症初期集中支援チーム」を設置し、相談に当たつて いる。

**A** 健康増進課長 丹町の認知症高齢者  
数は本年1月現在で750人。4月から「認知症初期集中支援チーム」を設置し、相談に当たっている。



一般質問者  
山下 利夫

**Q** 空き家が管理されずに放置され、老朽化による脱落などの危険、景観への影響などの問題が出ている。所有者は、費用負担、近くに管理する人がいないなどの理由で、管理や活用、解体などを適切に行なうことが困難な場合も多く、支援強化が必要。

当町では、空き家バンクや移住促進リフォーム補助などを行っているが、解体を支援する制度はない。都留市では、空き家を解体し、その跡地を地域の活動や防災の拠点などにする場合に、補助金を交付する制度などを実施している。当町でも検討を。

**A** **環境課長** 正確な計量にもとづいて手数料が徴収されるべきだが、このことは、業者間同士の考え方にはついていく。

協議の場については、今後必要に応じて検討していく。

**Q** ほかの社会保障とは、生活保護である。しかし、様々な事情から生活保護の申請ができない方、対象とならない方もいる。そうなると救済措置が完全になくなってしまう。

**A** 都市整備課長 空き家の実態調査を行った。それにもとづき、今後2年で空き家等対策計画を策定したのち、具体策を打ち出す。そのなかで、解体の支援制度や解体後の跡地利用などについても検討する。

## 事業系可燃ごみ収集の在り方にについて協議を

**Q** 今年6月より、事業者の排出する可燃ごみの処理手数料1トン以下無料が廃止され、すべての排出量に対して手数料が徴収されることになった。しかし、ごみの計量を正確に行なうことは現状では難しく、ごみ排出事業者は、排出量よりも手数料を払う可能性もある。また、小規模事業者の負担軽減策が十分検討されていない。

**A** **健康増進課長** 負担の公平性を保つ観点から、ペナルティは必要。制度上、保険料の軽減措置もあり、介護保険料納付により、生活困難となる世帯がある場合は、ほかの社会保障の対象となる世帯であると考える。

**Q** 65歳以上の方の介護保険料は、多くの方は年金から天引きだが、年金收入が年額18万円以下の方は普通徴収（納付書や口座振替）となっている。

介護保険料の滞納が一定期間あると、介護保険法の規定により、保険給付の制限などのペナルティが課される。滞納期間が2年を超えると、時効となり、保険料の納付ができなくなり、利用料の自己負担割合が3割に引き上げられ、施設入所の場合の補足給付（食費や居住費などの負担軽減）も受けられなくなる。

必要な介護サービスが受けられなくなり、本人も家族も追い詰められることになる。ペナルティの廃止、せめて町が柔軟に対応できるように、国に要望を。



## 一般質問



一般質問者  
渡辺 英之

このような他の自治体の取り組み事例を学び一層の研究を進めていく。

**A 町長** 河口湖に統計上500万人が年間訪れている状況である。来年度はラグビーワールドカップ、2020年にはオリンピック、パラリンピックが開催される。これら的好材料をいただきながら外部資本のホテルの建設が続いている状況で、地元の食材の採用、雇用も生まれている状況である。

**A 町長** 河口湖に統計上500万人が年間訪れている状況である。来年度はラグビーワールドカップ、2020年にはオリンピック、パラリンピックが開催される。これら的好材料をいただきながら外部資本のホテルの建設が続いている状況で、地元の食材の採用、雇用も生まれている状況である。

### 富士山噴火降灰対策と入院患者の避難は

#### 民泊を含めた今後の観光施策は

**Q 観光客が増加する中今後の計画、行政指導を含めた中で対応策をどのようにしていくのか、民泊を含めた中で考えを伺う。**

**A 観光課長** 連盟と連携、協力する中で第二次観光立町推進基本計画を策定し観光プロモーション、各観光振興事業を実施する民泊については本年6月15日から民泊新法が施工される。

**Q ホテルの新築増改築大規模ホテルの建設、新たな課題に対し現在の状況**

**A 地域防災課長** バイクなどの二輪車は災害時に発揮される三つの特性がある。①迅速性、②機動性、③省エネ燃費に優れている。また、通行不能な場所でも、走破できる多くのメリットがある。

#### 二輪車、ドローンの活用について

**Q 二輪車、ドローンの活用について**

**A 地域防災課長** このたび富士山噴火に備え活動火山対策特別措置法に基づき避難確保計画が義務づけられたところである。

### 鳥獣被害と安全対策について

**Q 野生鳥獣による農作物、林業の被害は当町でも出でていて特に鹿、イノシシ、サルによるものが多い。鳥獣対策、安全対策について伺う。**

**A 農林課長** 野生動物の個体数の調整として、シカ、イノシシ、サルの管理捕獲を毎年400頭～600頭を捕獲している。クマの出没には猟友会、警察にお願いしている。

### 小中学校の登下校時における安全と対策を

**Q 外国人旅行者の増加と共に犯罪事案を警戒する必要性を感じる。登下校時の安全と対策について伺う。**

**A 教育長** 小中学校の児童全員に防犯ブザーの貸与、青パトによる防犯巡回、教職員、ウォーキング協会、老人クラブ、PTAに防犯協力依頼をしている。

## 委員会レポート

### 総務

#### 常任委員会

総務  
常任委員会の  
審議状況を  
報告します。

**A 地域防災課長** 消火栓の位置については、路上駐車等しないように道路等に黄色の表示をしているが、積雪時には見えなくなってしまう。地上式の消火栓はある程度の高さがあるので、それ以下の積雪であれば確認はできるが、大雪の場合は困難かもしれない。地下式の消火栓と合わせて、降雪時、除雪時に何らかの対策を講じるよう検討したい。

## 小立地区のろ水機の現状は

**Q** 災害時に汚れた水をろ過するろ水機だが、故障していた小立地区のろ水機の現状は。

**A 地域防災課長** 小立地区のろ水機は平成29年度予算で既に新しい機械を配置している。小立地区に配置していた機械は、手動では運用可能のため本部に引き上げてある。

## 消火栓の一部に欠損箇所がみられる

**Q** 消火栓のホース接続口に欠損箇所があると思われる。その都度、修理対応はしてもらっているが、今後は都市整備課と除雪時の対応を協議すべきでは。

**A 政策企画課長** 2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピックについても、『くぬぎ平スポーツ公園』を使用していた

**Q** 2019年ラグビーワールドカップの事前キャンプ地について、富士北麓公園球技場と町の『くぬぎ平スポーツ公園』への誘致を富士吉田市と協働で進めていたが。

**A 政策企画課長** 2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピックについても、『くぬぎ平スポーツ公園』を使用していた

**A 環境課長** 3月下旬に収集運搬許可業者への説明会で、指定袋の使用についても町指定のごみ袋を使うということになっているが対応は。

**Q** 6月1日から事業系ごみ1トン以下無料が撤廃された。事業系ごみについても町指定のごみ袋を使うということになっているが対応は。

**A** これからも続けるということで指導の徹底をお願いしている。

## 町指定のごみ袋

## 委員会レポート

### 文教社会

#### 常任委員会

文教社会  
常任委員会の  
審議状況を  
報告します。

**A 生涯学習課長** 昨年度、基本的な設計について検討したが、具体的な工事については今のところ予定はない。

## くぬぎ平スポーツ公園 整備計画

**Q** ラグビーワールドカップに向けて、くぬぎ平を合宿地として利用する整備計画について、具体的な計画等はあるのか。

**Q** 整備計画については予算計上されて検討されたと思うがその内容について聞きたい。

## 住民課の窓口カウンター

A 用して便宜を図つていきたい。	A 係の1階について、可能であれば採	応が多々あるので関係部署と協議していきたい。	住民課長 高齢者や車椅子の来庁者が多いこと。また、時間を要する対	ンターにしたらと思うがどうか。
---------------------	-----------------------	------------------------	----------------------------------	-----------------

# Q 予防接種に補助を

**A 健康増進課長** 国が定期接種にしていない理由の一つとして一番大きな

自治体によっては、万が一の事故があつたときに予防接種の事故災害補償規則を作成して対応している。町民の強い要望があるので研究して対応をお願いしたい。



## ロタウイルス：乳幼児に多くみられる 急性胃腸炎の原因となるウイルス

## 旧船津保育所の使用予定

**Q** ロタウイルスの予防接種、おたふく風邪の予防接種については任意接種

**A** 子育て支援課長 旧船津保育所の利用については関係課で検討している。一部については船津小学校の校舎建て替えに伴い倉庫として利用。また、東館は保育所の機能を保ちつつ残していくこととしている。

学校での無線LANの整備状況は

# 危機管理マニュアルの整備を

**A** 教育センター長 昨年度まで勤務し  
ていた小立小では無線LANとかイ  
ンターネットが各教室につながつて  
いる。プログラミング学習については町で派遣し  
ているベネッセがインターネットトリテラシ  
ーとして各学年取り組んでいる。

**A** 教育長 各学校において、地震及び火災を想定した防災計画、避難誘導マニュアル等についての策定を毎年見直しながら行つており、年3回ないし4回程度の避難誘導訓練を行つてゐる。ただ、一番問題になるのが富士山の噴火を想定した場合のものについては、これから学校ごとに策定していくかなければいけないと考えていい。

## 委員会レポート

### 産経土木

#### 常任委員会

産経土木  
常任委員会の  
審議状況を  
報告します。

**A Q** 災害対策ということで国庫補助を受けられないのか。

**A Q** 水道課長 国からは当町は受益者負担金（水道料金）が安いので使えないと言われている。

## 課題となつてゐる水道料金

**Q** 上水道重要管路の耐震化計画における進捗状況は。

**A** 水道課長 平成27年3月31日30・22 %、平成28年同32・11%、平成29年同33・93%、平成30年3月31日現在で34・42%。費用は、平成26年度約3,600万円。平成27年度約3,700万円。平成28年度約2,500万円。平成29年度約1,700万円。

**Q** 実際この耐震化計画が出たときに

**A** 町長 特別会計は受益者負担が財源。一般会計から補充をしているが、それも限度があるので、どうしても最終的には受益者負担へ立ち返る。要するに料金の値上げをお願いせざるを得ない。

## 河川の管理

**Q** 河口湖の北岸地区は県の管轄の重要な河川や一級河川が非常に多いが、河川の中に草木が相当生い茂つていて、非常に見苦しいし、防災上問題がある。町と県で何か検討しているか。

**A** 都市整備課長 河口湖へ流れ込む県平浜川、室沢川、的場川。大石地区は、奥川、馬場川。河口地区は、梨川、西川、寺川、山の神川の9河川。県との連携のもと7月20日に寺川及び周辺の環境美化を計画している。

当町では特に長浜地区で30年以上にわたってごみゼロの日（5月30日）に、室沢川と的場川の早朝清掃を全住民で行つていているが、維持管理協定の対象になるので、今後は県の富士・東部建設事務所のほうに推薦をしていきたい。また、町としても普及させていきたい。

## 道路の補修

**Q** 小海から湖畔に行く町道の白線が消えていた。

**A** 都市整備課長 ある程度大がかりな補修をしてから白線を引く。現在、補修予算がほんなくなり始めており、9月の補正を考えている。

## 富士ヶ嶺地区太陽光発電問題

**Q** 富士ヶ嶺地区の太陽光発電関係で係争中の裁判の進捗状況は？

**A** 都市整備課長 4月11日付で富士ヶ嶺区長名で意見陳述書を提出。その後、裁判官から訟明を求めてきたため、5月28日付で訟明書を提出した。今後、7月9日に結審され、その後、判決となる。

**Q** 早急に一度地区を回つてもらいいたい。

**A** 都市整備課長 早速対応する。

A

**町長** 太陽光発電については当町ば  
い、ごくごく、全くの事ではない。

事案である。裁判にもし負けたということになると、これは全国的に波及する。また、現在大きなメガソーラーが船津地区に計画がされている状況で、これも進んでしまう。世界遺産富士の麓がパネルだらけになつてもいいのか。しかしながら、片や国がクリーンエネルギーを推奨している。

クリーンエネルギーは尊いものだが、国立公園内は厳しくするとか、そういういつた

法律の規制があつてしかるべきだ。国を動かして国の法律をもつてメガソーラーを規制できるという状況がなければ、甚だ負けてしまう可能性が強いと思つている。

# 富士ヶ嶺地区の 将来ビジョン

**Q** 富士ヶ嶺の畠地帯総合整備事業と地籍調査の進捗状況は。また、当地の将来ビジョンは。

**A 農林課長** 畑地帯総合整備事業は、平成21年度から平成30年度までの継続事業として排水路や農道の整備、鳥獣防護柵等の設置を行つてきた。これまでの事業費総額が11億円ほどで、町としては2億8,000万円ほど投資をしている。今年度農道整備を2本行つて完了となる。今後

については、予算もかかることなので事業計画等慎重に進めていきたい。

また地籍調査は調査の実施予定面積の進捗率が約30%となつてゐる。

**A** 町長 将来的なビジョンは、企業誘

中心となつて事業展開をしようとしている。町も同調して進めていくようにならえてゐる。

# 町営小立団地の CATV視聴に関する ご案内

**Q** 町営小立団地のCATVの視聴に関するアンケート結果は。

## A 都市整備課都市計画係長 平成30年 1月こアノケート調査を実施。現状。

4局のみの視聴に、ほとんどの方が不満であると回答。その状況を改善するためCATVの視聴を望むかという問いには、ほとんどの方が視聴を望むという回答。CATVが視聴可能になつた場合の利用料金負担の質問に対しては、ほとんどの方が自分で負担するという回答。

調査結果に対して、町も要望がある以上、CATVの視聴に向けて入居者との話し合いで今後の対応を検討していく。

## 観光におけるバリアフリー

バリアフリー法の改正が今国会で通った。その結果、自治体はバリアフリーの重点地域を設定して、一体的にバリアフリー化を実施する方針を示すマスター プランを作らなければならない。マスタープ

**A** ランの取り組みはどうに考えているか。  
**観光課長** 富士河口湖町観光連盟が



## 草津町

草津町は群馬県の北西部に位置し、東西9km・南北8km、総面積は49・7平方km。北と西には三国山脈の2,000m級の山々がそびえ、東と南は海拔約1,200mの高原となっています。日本列島のほぼ中央に位置し、上信越高原国立公園に含まれる草津白根山周辺は太平洋と日本海の分水嶺となっている高原の美しい街です。気候は理想的な高原性気候で、1年間の平均気温は7°Cで、真夏でも25°C以上になることは滅多にありません。

町の人口は、

約6,400

人で、草津温泉として国内でも有数の温泉地として地位を確立し、年間300万人以上の観光客が訪れ賑わっています。

## 町内巡回バスの取り組み

草津町では平成6年度総合保健福祉センターが完成したことに伴い、利用者の足として福祉バスを1日2本無料にて運行を始めましたが、経費削減等を目的に町独自の施策を検討し、新たな交通手段として観光と地域住民への福祉の提供という両面を兼ねた運行スタイルで平成12年11月から町内

の対応について、時系列表にて説明を受けました。当日の対策本部設置から群馬県との連絡、警察・消防署との対応、気象台との連絡、県をとおしての自衛隊出動要請等町の対応の内容には緊迫感があり職員の分単位での行動について事細かく説明を受け有意義な研修となりました。

巡回バスの運行を開始しました。当初は町内を3路線に分け1日20便でしたが、現在はA巡回からD巡回の4路線1日30便を運航しています。

A巡回は町のシンボルである湯畠、観光施設等を回る「観光客向け」コース。B・C巡回については町外周を回る「市民向け」コース。D巡回については保育所の帰り便「園児向け」コースとなっています。運行形態は道路運送法第4条、一般旅客自動車運送事業の許可を受けている業者と運行委託契約を結んでいます。料金については子どもからお年寄りまで誰でも気軽に利用できること、平成12年が町制施行100周年の記念の年であつた事、さらに運行委託先の協力などもあり運賃は1回利用につき100円に設定しています。今後の課題として、車両の老朽化・利用客の減少等の問題点についても説明を受けました。

今回草津町での研修の成果を、今後の富士山火山防災や町内巡回バス事業についてわが町でも生かす上で参考になり、大変有意義な研修でした。

## 本白根山の火山噴火防災



# 「世界とつながる」

河口湖北中学校 校長 渡辺 幸之助

5月17日、町の姉妹都市であるスイスのツェルマットから22名の訪問団が本校を訪れました。中学15名に加え村長さん、校長先生をはじめ7名の引率者は昼過ぎに北中に着き、給食、授業、交流会を体験しました。まずは初めての給食体験。最初は双方ぎこちない雰囲気でしたが、やがてどこの教室でも、身振り手振りを交えた会話が少しずつ始まりました。続いて授業体験。見学ではなく理科・数学・体育の授業に参加してもらいました。ツェルマット生にもワークシートが配布され、そこにドイツ語を載せる工夫をした教員もいました。体育ではボール投げで好記録を出したツェルマットの生徒に拍手を送る光景も見られました。体育館での交流会では、まずツエルマットの紹介が行われ、名山マッターホルン、万能ナイフとして有名なビクトリノックス、チーズやチョコレートの消費量の多さが印象に残りました。次に本校から伝統の「北中ソーラン」をご披露しました。「ソーラン隊」の気迫と緊張の交じった踊りに、ツェルマットのみなさんが見入っている様子がうかがえました。最後の親睦を深める時間ではYES・NOゲームを楽しみました。本校の担当教員より、マッターホルンと富士山を比べる問題が日本語とドイツ語の表示に映像を交えて次々に出題され、会場は大いに盛り



ツェルマットの生徒との交流会

上がりました。『猛獣狩りに行こう』という素朴な集合ゲームではロミー村長さんをはじめ、来賓のみなさんも子どもたちの輪の中に入り、和氣あいあいとした雰囲気になりました。お別れの場面では、自然とアーチをつくって送り出す北中生もいて、お互いに大きく手を振つて別れを惜しむ姿に、世界とつながる小さな一步を感じました。後日、ツェルマットから村長さん直筆のお手紙とお礼のお菓子が贈られてきました。これには私たち職員もびっくり。早速子どもたちに紹介し、給食の時間においしくただきました。

かけがえのない体験ができ、このような機会をいただいた町当局、また政策企画課の皆様に改めて感謝申し上げます。

## 議会見・聞・録

今回が初めての議会傍聴でした。

そして、我々の一番身近な地域の予算の使い方等、重要な施策が議論される議会での傍聴人の数は、私を含め2名でした。テレビ中継があるとは云うものの、実際の議論の様子を見る事により様々な疑問点や課題を探る事ができるのではないかと思います。

暮らし易く安全な街作りを、行政、議会、住民の三位一体一

体となった改革と町の未来像に関心を持つことの重要性がより求められる事を痛感した次第です。

行政へ住民の声や新たな提案をしてもらう為、我々が選んだ議員です。住民がもっと関心を持ち、意見を具申する必要性があると思います。

尚、余談ですが議会傍聴に際し、本人確認なしで入れたことに今後セキュリティーへの課題があるのでと思いました。

(船津住民)

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は9月です

どなたでも傍聴できます。  
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。  
入口には注意事項が掲示されています。

●議会広報常任委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員長	渡辺	外川	半田	本庄	古屋	渡辺	幸久	幹吉	美雄	英之
梶原 義美 小佐野 快 武満 武則 久義 久快	渡辺 外川 古屋 幸久 幹吉 美雄 英之	半田 幸久 古屋 幸久 幹吉 美雄 英之	本庄 幸久 古屋 幸久 幹吉 美雄 英之												

編集後記

議会だより  
ふじかわぐちこ Vol.59

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会  
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167